

【レイン】

Rain

by Water-n

水を選ぶ企業
紹介ページあり！



vol. 8

水Lab
Vol.6

東京地下ラボ

by 東京都下水道局

水 に向き合う若き研究者や学生たちの活動にスポットを当て、水を学ぶ楽しさと醍醐味を教えてください連載「水 Lab.」。第6回は、下水道を新しい形で発信する「東京地下ラボ by 東京都下水道局」をご紹介します。学生さんが下水道の仕組みを学びながら、クリエイティブの力でその魅力を伝えるプロジェクト。動画「水にアツいよ！下水番長！」でグランプリを受賞したチームの皆さんに、制作秘話や下水道への意識についてお話を伺いました。



インパクト大の下水番長！ 制作したのは、上段左から、武蔵野美術大学デザイン情報学科4年 大崎一郎さん、武蔵野美術大学映像学科3年 原田季和さん、東京都立大学（旧・首都大学東京）インダストリアルアート学科2年 隅山侑衣子さん。
※学年はすべて動画制作当時のものです

隅山 インフラである下水道とクリエイティブがつながる「東京地下ラボ」の活動が面白そうだなと思って参加しました。デザイン系の学科に通っているのですが、土木系の勉強をしている友達もいるので興味があった。実際に参加してみると、三河島水再生センターに見学に行けたのが勉強になりました。下水が処理されてきれいになる様子を見たり、かつての下水道管の中に入ったりして、施設を肌で感じる事ができました。

原田 私は映像学科なので、動画が撮れるところが大きかったですね。自治体の方と一緒に作れるのも魅力でした。正直制限が厳しい部分があったりするのかな？と思ってはいたんですけど、制作自体はかなり自由にチャレンジさせてもらえました。

大崎 僕はデザインや企画を学ぶ学科だったので、クリエイティブで下水道の課題を解決するというのがプロセスが面白そうだと思って参加したんです。動画の制作中は、主に美術と絵コンテの制作を担当していて、原田さんが撮影・監督、隅山さんが進行管理・制作という分担でした。他の班と比べても結構頻繁に集まっていた記憶があります。

原田 最初はみんなでアイデア出

しをして、それをもとにプロットを作る作業を行いました。それぞれ専門分野が違うので、いろんなアイデアが生まれるのが面白かったですね。

隅山 映像制作の一連の流れ、特に俳優さんをオーディションしたり、アサインするフローを体験できたのも楽しかったです。

原田 下水番長をお願いした俳優さんは経験豊富な方で、水をかぶったりするのも気軽にOKしてくださって、ありがたかったです。

隅山 制作中は、プロジェクトを俳優さんや関わってくれる方に説明しないといけないので、きちんと話せるように自分でも繰り返し調べていった感じでした。ワークシヨップで伺っていたことを、足を運んで体験できたのも勉強になりました。

大崎 このプロジェクトがなかったら、水に関して「蛇口から出るもの」という認識でしかなかったと思います。それが、こんな施設で下水が処理されて、こういうプロセスで最終的にきれいになった水が川や海に流れていて、そこに関わっている人たちがいる、ということが可視化されました。見えていたものに対する新しい視点が生まれたのが、このプロジェクトに関わって変わった点ですね。

隅山 下水道局で熱い思いを持って活動している方々を知って、私も水を使う時に、そういう人がいることを前提に考えるようになりました。今では散歩する時も川がどうつながっているかが気になって、見たりしています。

原田 私はもともと川の堰があったところに住んでいて、浄水施設を見たことがあったんです。だから水に関しては割と知った気でしたんですけど、下水のことは全然知らなかったなと思って。下水道施設って災害時に雨水をためる場所としても使われているじゃないですか。撮影の時、下水道施設の上に公園やビルがある場所をロケ地に選んだのですが、普段意識していないだけで、こういった場所を支えられていることを知れたのが良かったですね。

「水Lab.」に
登場してくれる
研究室を募集します。
申し込みは
water-n.com/contact/

RAIN × water

「特集」

地球全体をおおう水が蒸発して雲を作り、
雨となって降りそそぐ。

降る雨は植物を育て、地上に貯まって
飲み水や生活用水となり

私たちの暮らしを支えている。

雨は大切な水循環のサイクルのひとつ。

でもその一方で、最近増加している
1時間に100mmを超えるような豪雨が
大規模な災害を引き起こしているのも事実だ。

これからの時代を生きていく私たちは
雨と共にどうやって

暮らしていけばいいのだろうか。

「首都圏外郭放水路」

埼玉県春日部市にある世界最大級の地下放水路。中川・綾瀬川の流域にあたるこの地域は、土地が低く水がたまりやすいため、これまでに何度も洪水被害を受けてきた。2006年にこの施設が完成したことで、洪水被害を大きく軽減することに成功。首都圏の水害を防ぐ「地下神殿」だ。記録的な大雨となった2019年の台風19号でも、50mプール約7673杯分をポンプで江戸川に排水し、洪水の大きな被害からまちを守った。
(提供 国土交通省江戸川河川事務所)



水を還す。

「Water」+「Return」

料理して、食べて、トイレに行って、お風呂に入る。

そのすべてに水が必要。

メールして、音楽を聴いて、おしゃれして、勉強もちょっとする。

そのために必要なモノを作るすべてに水が必要。

水は貴重な資源。大切に使わなくちゃだめ。

そんなことはもちろん分かってる、つもり。

でも、水ってどこからきて、

どうやって自然に還されてるかって聞かれると、

正直「なんとなく知ってる」ぐらいかも。

わたしたちの身の回りのすべてに、

誰かの、何かの、水にまつわるストーリーが秘められている。

それを感じながら生きることって、きっとカッコいい。

だから。

ふだんの暮らしの中に少しだけ「水」について考える時間を…

そんな思いで『Water-n』を編集しています。

雨活のまち を行く!



名物 インタビュアー
H2男
(えいち ふうお)

味のある商店街に、色とりどりの植木鉢が並ぶ細い路地。東京スカイツリーがすぐそばに見えるのにどこか懐かしい墨田区向島界隈は、古さと新しさが絶妙にブレンドされた、歩くのがとても楽しいまちです。ここに事務局を構えるNPO「雨水市民の会」は、雨水を生活に生かすための「雨活」を推進しているのだとか。果たして雨活っていったい何なのか、Water-n編集部が直撃してきました!



近所の人とおしゃべりしながら水やりをする風景も見られる墨田区。植木の緑も心なしか鮮やか!

「こんにちは〜!」
「こんにちは、雨水市民の会で理事をしている笹川みちるです」
「事務局長の高橋朝子です。ここに来るまで迷いましたか?」
「くねくねとした細い道があつて、まっすぐな道に慣れていると確かにちよつと不思議な感じでした。でもまち全体が何となく昭和な感じでほつとします。」

笹川「このあたりは東京大空襲でも焼け残った場所だから、古い通りや建物が残っているんです」

高橋「古くから住んでいる人が多いから、住民同士も顔見知りで仲がいいんですよ」

「そいえば、事務局にいても近所の方がご挨拶に寄つたりして、人との距離感も何となく懐かしい感じがします。この地域では、なぜ雨水活用が進んでいるんですか?」

高橋「それにはまず、この地域のことを説明しましょう。墨田区は、荒川と墨田川などの川や水路に囲まれた地域で海拔も低い。とにかく水害が起きやすいんです」

笹川「おまけにこのあたりは狭い路地に今も木造建築が密集しています。火事があつたら大変ですから、昔から住民同士の災害に対する意識が高いんです」

「ご近所同士協力して水害や家事に備えていかなきゃ!と自然になつていったんですね。」

笹川「はい。もちろん区や国でも対策は進んでいます。自分たちでもできることをやってみようという、地域コミュニティが生まれやすいですね」

高橋「では、雨水活用の実際を見てもらいましょうか!」

「はい!お願いします!事務局の前にもさっそく雨水を貯めるタンクがありますね。」

笹川「歩いているとわかりますが、墨田区はまちのいたる所に「天水尊」、路地尊」といいます。都市型災害に私たち自身がどう向き合うか。そして資源としての雨をどう活用していくか。そういうモデルを作つていきたいですね」

「なるほど……!まずは、家でも雨水タンクを置くことができますか?」

笹川「自治体によっては、タンク設置のための助成金もありますよ。役所のHPなどにも記載されていると思いますから、ぜひ調べてみてください!」

「はい!やってみます!」

う雨水タンクが置かれています。植木への水やりに道路への散水、もちろん火事の時にも使います」

「これにはかっこいい手押しポンプがついてる!これは押してもいいんですか?」

高橋「もちろん!これらのタンクの水は、誰が使ってもいいものです」

笹川「個人宅の屋根の雨どいからみんなでするタンクへ雨水を取水したりもしています。あつとそつちの雨水くれや」

「何だかお醤油の貸し借りみたいですね。雨水は、ほかにどんなことに使えますか?」

高橋「私は掃除や洗車にも使いますね。雨

まちのあちこちにある「天水尊」と「路地尊」。高橋さん(右)がポンプを押して、笹川さんが持つボトルに勢いよく水が流れ込みます。



「このあたりは軒先に素敵な植木も多いから、より雨を楽しみにしやすそうですね。」
笹川「最近はこのあたりも開発が進んで、新しい住民の方も増えています。雨を楽しむことを通して、人と人とのつながりを保つていけば、もし災害があつたら」と話し合うこともできる。やはり、近隣の人と連携して心構えを持つていくことはすごく大切ですね」

高橋「日本は災害が多い国ですが、この地域は、ある意味ではその「最先端地域」です。これからの災害には、国や自治体など社会の整備と、個人の行動の両輪が必要になり

葛飾北斎の富士をモチーフにした奥行き30cmほどの「雨のつぼ庭」。ポンプを押すと植物の左右の雨水タンクから水が汲み上げられ、ネットに伝わり、水が行き渡るように工夫されています。



路地尊を併設したまちの菜園。年に1回、道端に机を出して、収穫祭も開かれるのだとか。



特定非営利活動法人「雨水市民の会」
<http://www.skywater.jp/>

最先端のまちは雨災害に強い！

あさかりードタウン

時間降雨量が100mmを超える猛烈な雨。

豪雨による浸水被害や土砂災害が、ここ数年相次いで起こっています。

これからのまちづくりに必要な雨対策とは何か？その新たな解答を示したのが、
埼玉県朝霞市に作られた「あさかりードタウン」です。



雨水貯留槽

駐車場の下などに埋設されているプラスチック製の雨水貯留槽。積み上げたブロック間の隙間に雨水を貯めています。



大口径管

直径165cmと180cmの大口径管が並びます。素材となるFRPM管は、耐震性に優れ国内主要空港でも雨水管として採用されています。



安全・安心・ 持続性の 新・災害都市

埼玉県朝霞市は、池袋まで30分の位置にある人気のベッドタウン。その一方で、あさかりードタウンがある地域は荒川水系の黒目川に近く、豪雨の際には浸水被害の危険性もありました。積水化学工業の東京工場跡地にできたこのまちには、災害に対する「安心・安全」、そして何世代にも渡って住み続けられる「持続可能性」を実現したいという思いが込められています。

安心・安全のいちばんのポイントは、やはり雨対策。時間降雨量100mmにも耐えられるという地下雨水貯留システムが設置されています。あさかりードタウンのメインストリートの地下には、大人が立ったまま入れるほどの巨大なサイズのプラスチック製の雨水管が3本も埋められています。空港など素早く排水しなければならぬ施設には、複数の大口径管を敷く例もありましたが、住宅でこれほどの規模は初。公園や駐車場の地下に設置された雨水を貯める貯留

槽と、この大口径の雨水管の併用で、豪雨にも対応できるまちの基盤を作ることになったのです。その実力が最初に証明されたのは、昨年の台風19号の時。朝霞市では約300mmもの総雨量があったものの、道路冠水などの被害は発生せず、防災インフラの整備効果が発揮されたのです。

このほか、万が一災害が起きた時にも、ソーラーシステムから電気を得られたり、飲料水の貯留が可能だったり、災害があっても暮らしていけるようなシステムも完備しています。この災害に対する堅牢さが評価され、入居希望者は、通常の新築住宅の1.5倍ほどに伸びているそうです。

雨水貯留施設は地下に埋まっているため、実際に見ることはできません。しかしこれからの社会では、まちの安全と安心を実現するうえで、この隠れたインフラの活躍が欠かせないものになってくるはず。『暮らしてみたいまち』を考える時、つい便利さやイメージの良さに気をとられがちです。しかし、インフラという私たちの暮らしの基盤となるものについても、ぜひ目を向けてみてください。



大雨の際に冠水が起こった市内の様子。

雨水の“浸透”で浸水対策

豊かな緑が残る狭山丘陵を背にする武蔵村山市は、荒川水系の空堀川流域と多摩川水系の残堀川流域に属します。市の南東部はこの空堀川より低い場所になるため、雨水を川に流すことが難しく、大雨が降ると浸水しやすいそう。宅地が多く、大規模な改修が難しいこの場所で積極的に取り入れているのが「雨水浸透施設」。たくさんの小さな穴が空いたコンクリートやプラスチックのますや管などの周りを碎石でおおい、水が浸透しやすい隙間を人工的に作っています。

都市水害は、アスファルト舗装などによって雨水が地中に浸透しにくくなり、行き場を失った雨水が急激に下水管や河川に流れ込むことで起こります。そこで水が浸透できる場所を増やすことで、浸水被害を防ぐのです。武蔵村山市では、道路に水が溜まりやすいといった市民からの声に応える形で、浸透施設を設置してきました。浸透ますや浸透トレンチは設置にそれほど大規模な工事が必要としないため、住

まちづくりの
雨対策

File.2

市民の声で雨に強いまちをつくる！

武蔵村山市

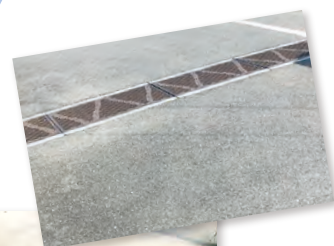
東京都の多摩地区にあり、まだまのどかな風景を残す武蔵村山市。

北側にある狭山丘陵からなだらかに勾配しているため、

市の南東部に雨水が流れやすく、浸水しやすいという課題を抱えています。

まちに降った雨を川に流すことの難しいこの地域では、こんな対策を取っています。

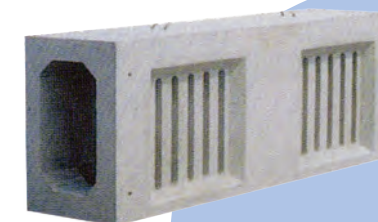
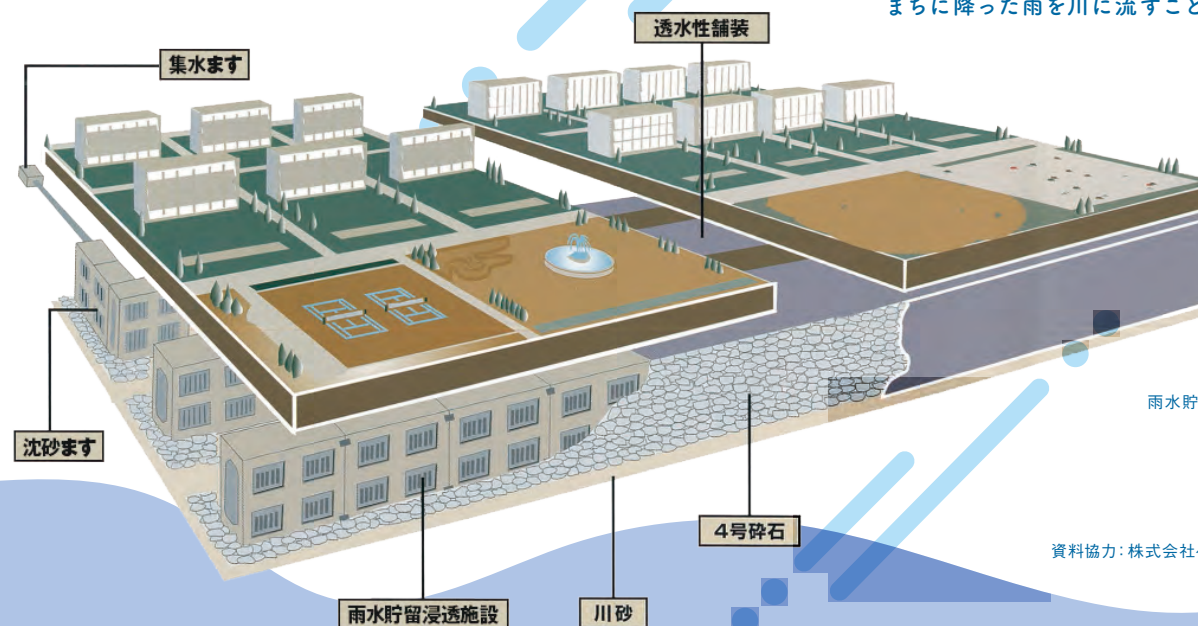
民の要望に事細かく応えることが可能。ひとつひとつの規模は小さくても、確実に浸水被害は少なくなっています。これからの雨の降り方は激しさを増していく可能性があり、都市水害がどうなっていくのか先が見えません。長期的な視野に立った対応が必要な一方で、「いま・ここで困っている人の声に応え、フォローしていくこともまた大切。住民の声がまちを強くする。そんな災害対策の在り方も必要なのです。ちなみに浸透施設は、側溝などに埋まっている場合も多いので、側溝が詰まらないうちに掃除することが必須。日ごろから、「ゴミなどをポイ捨てしないようにしましょう！」



市内の南側には、効率よく雨水を集める施設がところどころに見られます。



雨水浸透施設の上部は、公園として活用されています。



雨水貯留浸透施設

資料協力：株式会社ベルテクスコーポレーション

雨を楽しむ

BOOK CINEMA MUSIC

CINEMA

「ショーシャンクの空に」

Blu-ray: ¥2,381+税 / DVD: ¥1,429+税
ワーナー・ブラザース ホームエンターテイメント
©1994 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.

無実の罪を着せられてしまった主人公の過酷な刑務所生活と、その生きざまを描いた映画。雨を全身で浴びるラストシーンは映画史に残る名場面。希望を捨てずにできることをコツコツ続けることの大切さを教えてくれる。

MUSIC

「迷子犬と雨のビート」

ASIAN KUNG-FU GENERATION
「迷子犬と雨のビート」収録 (Ki/oon Records)

雨のまちを散歩しながら聴きたくなる、こきげんなギターリフから始まる1曲。アジカンのだいごみともいえる中村佑介のジャケットから、曲の歌詞や世界観がどうやってアートワークに表現されているかチェックするのも楽しい。

BOOK

「羅生門・鼻」

新潮社／芥川龍之介

にきび面の下人が雨の羅生門の下で途方にくれているところから始まる「羅生門」。短い作品ながら、善悪とはなにか？を突き付けられる。たまにはスマートフォンの電源を切って文学と向き合うのもいいかもしれない。

COMIC

「水は海に向かって流れる」

講談社／田島列島

進学を機に叔父の家に居候することになった直達は、そこに住む26歳OLの榊さんとお出会うのだが……。女装の占い師や大学教授ら、くせの強い他の住人たちが巻き込んで繰り広げられる、さわやかで繊細な家族の物語。

CINEMA

「キツツキと雨」

価格: DVD ¥4,700+税
発売元・販売元: 株式会社KADOKAWA

昔気質の木こりと、撮影で山奥にやってきた若い映画監督の交流を描いたコメディ。二枚目のイメージが強い小栗旬が、気弱でぼそぼそ話す監督役を愛らしく演じている。笑えて最後はピースフルな気分になれる映画。

MUSIC

「Bad Feeling」

ぜったくん
「Bed TriP ep」収録 (Lastrum)

雨を楽しもうっていったって、正直気が乗らない日もある。町田市出身のラッパー・トラックメーカーぜったくんの「Bad Feeling」は気だるいビートと飾らないリリックで、そんな憂鬱な一日を優しく包み込んでくれる。



降雨時

遊水池

マンホール

平常時

遊水池は、河川の堤防の一部を低くして河からあふれた洪水を一時的に貯留することで、洪水被害を軽減させるために作られる池のことです。遊水池は、平常時は別の施設として利用されることが多いのですが、写真の妙正寺遊水池（東京・中野区）は多目的住宅に近接した公園として整備されています。

下水道のマンホールには、雨水だけを流すものと、生活排水など汚水を流すものの3種類に分かれます。写真のように「雨」「雨水」と書かれていることも。歩いている時にマンホールの役割をぜひチェックしてみてください。

雨さんぽをしてみよう

雨が降った時に、雨水を貯めたり、地下に浸透させたりする施設は、実は身近にたくさん存在しています。自分の家の近くにも、雨にまつわる施設がないかぜひ探してみてください。そこが、雨の被害から私たちを守ってくれているのかもしれない。

浸透池

降雨時

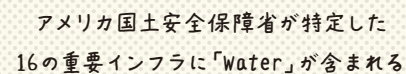
調整池

平常時

雨水を貯める施設の場合、平常時の使用が難しいという課題があります。そこで使われるようになったのが地中浸透という方法。浸透池は、地下にプラスチックやコンクリート製の施設を埋めて雨水を地中へ浸透させるもので、洪水調節と地下水涵養という、両方の機能を併せ持っています。

集中豪雨などで、急激に大量の水が河川に流れ込まないように、一時的に貯める池のこと。調整池に貯められた水は、下流地域への影響を考慮しながら少しずつ排水されます。写真は鶴見川に流れ込む水を調整する霧が丘調整池（神奈川・横浜市）。

What is an Essential Worker?
エッセンシャルワーカーって何？



ちよつとまじめに水のこと

vol.7

Let's study
about water

新型コロナウイルスに関する報道で「エッセンシャルワーカー」という言葉を見聞する機会が増えました。医療従事者やスーパーの店員などがエッセンシャルワーカーとして紹介されることが多いのですが、エッセンシャルな業種はそれだけではありません。

アメリカ国土安全保障省は新型コロナウイルスの感染拡大を受け「重要なインフラストラクチャの労働力に関するガイドライン」を公表しました。その中では16の重要なインフラセクターが特定されており、「Water」（水インフラ）が医療分野などとともに含まれています（図）。

水インフラは「あるのが当たり前」すぎて、意識されることは少ないかもしれませんが、ですが、みんなの日常を、そして、エッセンシャルワーカーを、また、エッセンシャルワーカーが働く現場を支えています。

日本では5月25日、全国的に緊急事態宣言が解除されましたが、第2波と思われるほど感染が再び拡大しています（8月12日現在）。新型コロナウイルスとの戦いは、まだ終わっていません。もしかしら終わりはないのかもしれませんが、だからこそ、ひとりひとりが感染予防を継続して実施する必要があります。

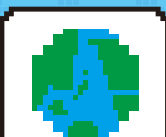
対策の基本は手を洗うことですが、その水を作るのが上水道の仕事です。そして、洗った後の水処理するのが下水道や浄化槽、廃水処理の仕事です。それらの現場で働くエッセンシャルワーカーに感謝しつつ、手洗い、消毒、健康管理を基本に Keep SAFE を心掛けましょう。



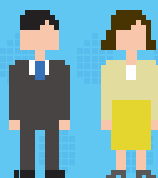
水を還すお仕事図鑑

water-n picture book

world



海外の水を守る
お手伝いも
やってるよ



government

Step1

国

【国土交通省/環境省/農林水産省】

政策

(法律、予算、技術基準など)を
決定

Step2

自治体

下水道計画・
生活排水処理計画・
経営計画などを策定

コンサルタント

計画・設計・
経営などを
サポート



consultant

使った水を還すためには、
国、自治体、企業、
さまざまな人が関わっている。
どんな仕事があるのか、
見てみよう！

Step3

水を還す施設

Facilities for returning water

下水道

sewer system

機械

machines



処理に必要な
装置の製作

土木・建築

civil engineering & construction



基礎工事やパイプの敷設

資器材

materials



マンホール蓋など
資材を製造

電機

electrical machinery



施設の運転に
必要な電気を供給

処理場

sewage treatment plant



运营管理

management



施設の運営や
パイプのメンテナンス

浄化槽

johkasou system



人口が少ない地域の
排水を処理！

エネルギー

energy



肥料

fertilizer



きれいな水

clean water



return

return



まちづくりに
貢献できる
仕事です

仕事を通じて
社会が見えます！

マンホールふた
製造の老舗で
まちに必要なものは
何かを探り続ける
お二人にインタビュー！

水を還す達人突撃インタビュー企画

第8回

阿部哲良さん

入社11年目。東京支店の横浜
営業所に所属。スリッパし
にくいマンホールふたの美力を
体感しに、自分でもバイクで
上を走ってみたそう。

中野由優季さん

入社7年目。阿部さんと同じく東
京支店の横浜営業所に所属。
「排水溝に油を流すのは絶対
ダメ！」は声を大にして言いたい
とのこと。

100周年を迎える記念ポスターの前に、素敵な笑顔の中野さん(右)と阿部さん。

1961年にマンホールふたを開発して以来、
常に業界のトップランナーであり続ける日之出水道機器株式会社。
日々まちの安全のため、営業に奔走するお二人に聞きました！

H2男

(えいち つうお)

お二人は学生時代から
この業界を目指して
いたんですか？

お仕事でやりがい
感じた経験があれば
教えてください！

阿部 北陸営業所時代に担当した
「かほくARストーリー」です。スマー
トフォンなどでマンホールふたの画



「マンホールふたは唯一の見えるインフラ。だからこそできることを探ってきました」(阿部さん)

阿部 商学部だったので、まったく
別分野です。税理士とかになるもの
かと思っていました……。最初はマン
ホールが文字通り「人孔」だというこ
とも知りませんでした。「人」が点検
のために「孔」のことで、私たち
はそのふたを製造しています。
中野 私は法学部なので、まったく
知らない業界でした。「安定していそ
うな職種だな」と思って(笑)。入社し
て驚いたのは、生活を支えるインフ
ラだからこそ、ここまで努力がかかっ
ているんだ！ということ。気づかない
うちに水がキレイになっているとい
うことのすごさを感じました。

中野 見て歩いて、先輩たちの知識
と経験をお借りしながらまちのこと
を知るといのは大事ですよ。私も
日々痛感しています。マンホール
ふたの営業というのは、正解がない
仕事です。たとえ同じ市であっても、
少し離れるだけでそれぞれ抱えてい
る課題が違うし、まず「何が課題か」
が表面的には見えていない場合も
多い。だからこそまちを知ることが、
丁寧にヒアリングをしていくことが大
切だと思っています。簡単なことでは
ないですが、インフラの仕事を通
じて社会が見えることに、とてもや
りがいを感じています。



「遠隔地でもマンホールの内部を監視できる製
品なども、将来に期待がかけられます」(中野さん)

健全な水循環を通して 都市に「うるおい」を もたらす

1 960年代後半以降、日本の都市は急激な発展によって山林や田畑が住宅地に変わり、道路は舗装されていきました。その結果、雨が地中にしみ込まずに一気に河川へと流れ込み、洪水が起こりやすくなりました。これが都市型水害の主な原因のひとつです。それによって起きた地下水量の低下は、河川水質の悪化や、緑地や街路樹などのうるおいの減少、気温の上昇や、地中の乾燥化、ひいては都市のヒートアイランドなど、さまざまな事象の原因となっています。

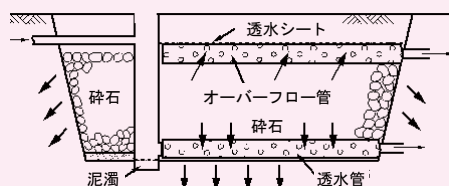
この都市の水循環の課題を解決するために、雨水を貯めたり、浸透させたりする技術が開発され、各地で活用が進んでいます。

雨水貯留・浸透の方法としてまず挙げられるのが、調整池などの貯留施設です。降雨の際に雨水を一時的に貯め、その後徐々に放流することで河川の氾濫を防ぐ役割を担っています。ですが地表にある貯留施設の場合、ある程度の広さが必要とするため、土地の有効活用という面で課題が生じます。そこで開発されたのが、地下貯留や浸透技術です。道路下や駐車場下に水を貯めたり、浸透トレンチや浸透ますなどを設置して雨水を浸透させることができます。

これらのさまざまな技術によって都市型洪水のリスクはある程度低減されましたが、近年頻繁に起こっている記録的な大雨に対応していくためには貯留・浸透だけでは限界があります。今後は河川の流域全体を見ながら洪

水処理、雨水排除、雨水貯留・浸透などの雨対策を総合的に考えていく必要があります。

また、貯めた雨水を使う「利水」についても進めていくことが大切です。実は雨水は蒸留された水なので、想像以上にきれいな水質です。現在はトイレの洗浄水や散水が主な用途ですが、水質がきちんと評価されるようになれば、いずれは医療分野への利用も可能になると考えられます。災害を防ぐためだけでなく貯めた水を使い循環させていくこともまた、未来の水環境の改善につながります。



砕石による空隙貯留浸透施設。



プラスチック貯留槽による空隙貯留浸透施設。
貯留槽や砕石の隙間に水を一時的に貯留し、土中に浸透させていく。

WE ARE WATER-N COMPANIES!

いい水を感じたら、私たちのことを思い出してください。
私たちは水と歩み続ける会社です。

暮らしのインフラを支え未来を拓くDNA 東亜グROUT工業株式会社	VERTEX 安心のカタチを造る。 造るのは、モノだけじゃない。知恵を絞って、安心の新しいカタチを造ろう。 これから、すべての人が笑顔で暮らせるように。 ベルテクスグループ ゼニス羽田株式会社 株式会社 ホクコン		水をつくる、いかす、考える。 FUSO 株式会社フソウ			
PROTECT×CHANGE Daiki AXIS 株式会社 ダイキアキシス	NJS 水と環境の Consulting & Software	水から経済・社会・地域を 考えるWebジャーナル Mizu Design 「インフラ」「まちづくり」「環境・エネルギー」「安全・安心」「公民連携」「地域活性」「モノづくり」「ESG 経営」「文化・伝統」「食」... 多種多様な社会情勢を「水」でつなぎ、「水」を基軸とした統合的な情報を発信します。すべての記事が無料で閲覧可能。ぜひ研究や仕事にお役立てください! mizudesign journal.com	水・廃棄物・エネルギー管理を通じた環境サービス VEOLIA ヴェオリア・ジャパングループ公式 www.veolia.jp @Veolia_Japan	NSS 日本水工設計 水 すゝもつと	SEKISUI 積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー	
ShinMaywa Brighten Your Future 暮らし、産業の基盤を支える 水・環境トータルソリューションカンパニー メタウォーター株式会社 METAWATER	株式会社 広洋技研 KOYO ENGINEERING CO.,LTD 卓越した技術と経験で、豊かで清らかな水環境を取り戻します。	水インフラのチカラに。 ISHIGAKI 株式会社 石垣	誠実を旨とし 優れた技術者を育て 良い作品を残す Tec 株式会社 東京設計事務所	HINODE 日之出水道機器株式会社 www.hinodesuido.co.jp	極東技工コンサルタント EARTH WATER CREATOR www.kgc21.co.jp	水の総合コンサルタントのリーディング・カンパニー 株式会社 日水コン 環境技術で世界に貢献する TSK 月島機械



水出しコーヒーが手軽に作れるって知ってた？

暑い時期につい飲みたくなるアイスコーヒー。外で買うのもいいけれど、家で簡単に楽しめる水出しコーヒーに挑戦してみるのはいかがですか？ 水出しコーヒーは水でゆっくり抽出する淹れ方のひとつ。少し時間はかかりますが、作り方は簡単。準備するものは、コーヒー豆（中挽きがおすすめ！）、容器、お茶パック。お茶パックにコーヒー豆100gを入れ、容器に入れて水1Lを注ぐだけ。冷蔵庫で8時間くらい置けばできあがりです。すっきりと口当たりのいいアイスコーヒーが楽しめますよ！



mizube.so/

水のまち・横浜でSUPツアー

横浜のまちを流れる大岡川で、スイスイと気持ちに良さそうに進むSUP（スタンド・アップ・パドル・サーフィン）。大岡川を下り、横浜中心街区みなとみらい・汽車道周辺などのインナーハーバーエリアまで往復するSUPツアーを運営しているのが、横浜・黄金町の「アートによるまちづくり」に参加した「水辺荘」です。「水辺荘」は、かつては違法風俗店舗だったという長屋の一角をリノベーションした場所。日本を代表する港町であり、かつては舟運でにぎわった運河や河川が今も多く残る横浜の水辺に、もっと気軽に水に親しめる場を作りたいという考えのもとに発足したのだとか。SUPが初めての人にも、丁寧なレクチャーが行われるので安心です。川から見る横浜の風景を、ぜひ楽しんでください。

次号は「Agriculture」（2021年1月発行）

編集後記

- コロナ禍で取材を自粛したため約2月遅れの発行となりました。また予定していた特集「SPORTS」はオリンピック延期のため「RAIN」に切り替えました。でも、笑顔でいようね。(Saki)
- 雨への備えは大切。でも、雨を楽しむ心も持ち続けていたいなと改めて思いました。(Aya)
- P10「雨を楽しむ」シリーズの漫画『水は海に向かって流れる』が面白かったです！雨が出てくる作品をもっと知りくなりました。(Memi)
- 「雨活」の考え方が、とっても素敵で勉強になりました！向島エリアに行ったら、雨水タンクを探してみたいと思います。(Natsu)

発行日：2020年9月4日

協力：国土交通省下水道部 / 環境省水・大気環境局水環境課 Water Project
環境省環境再生・資源循環局浄化槽推進室 /
下水道広報プラットフォーム未来会

STAFF

Publisher	奥田早希子（一般社団法人 Water-n）
Editor	田尻彩子（有限会社モッシュブックス） 松原芽未（有限会社モッシュブックス）
Art Direction	古田ナツ子（株式会社ありがとう）
Photo	杉能信介（p13）
Illust	古田ナツ子（株式会社ありがとう）
Printing	大日本印刷株式会社

一般社団法人 Water-n

〒107-0062
東京都港区南青山2丁目2番15号 ウィン青山 942
water-n.com/

! Water-n × Culture

水にまつわるカルチャーと、Water-n 的ミミヨリ情報を紹介！

雨水タンク関連の補助金制度

114件

※「環境ビジネスオンライン」雨水タンク関連の補助金
kankyo-business.jp/subsidy/rainwater-tank/

個人宅やオフィスなどに雨水タンクなどの貯留設備を置くことに対して、政府や地方自治体が助成金や補助金を交付しています。114というのはその制度の数。記録的豪雨の増加などによって、雨に対してついつい否定的になりがちな一方、雨水を貴重な水資源として捉えなおそうという考え方も全国的に拡大しています。流れていってしまう雨を貯めて使えば、大切な水資源に変身します。個人で貯めた水は、植木の水、防火水槽、トイレの水、洗濯などに使用することで、上水の使用量を抑えることができるほか、降雨時の下水道への流入を抑えて洪水を緩和し、雨水の下水処理にかかるCO₂を低減する効果も見込めるのです。雨は、水循環の形のひとつ。私たちにとって重要な資源・水であることは変わりません。多くの人が水を貯め、有効に活用していくことは、日本のみならず、世界の水ストレスを軽減することにもつながるのです。



「アバウト・タイム ～愛おしい時間について～」

Blu-ray: ¥1,886+税 / DVD: ¥1,429+税
発売元：NBCユニバーサル・エンターテイメント

ある日突然、タイムトラベルが できるってわかったら？

イギリス、コーンウォールに住むごく普通の青年ティム。21歳の誕生日に、突然父親から自分にタイムトラベル能力があることを告げられます。ティムはさまざまなことにその力を使っていくのですが……。誰もが一度は考える「あの時に戻れたら」を描いているにも関わらず、私たちのありふれた毎日を肯定してくれるのがこの作品のいいところ。暴風雨になってしまった自分たちの結婚式を最高に楽しむ主人公夫婦の姿は、気持ち次第でどんな日だってかけがえのない宝物になることを教えてくれます。



「恋する縄文」 mogsan

収録アルバム「月と健康」
(Go-Hi.records) より

※CDはソールドアウト。
各種ストーリーミングサービスで配信中

恋×雨×縄文！？ 時空を超えるポップチューン

東京、永福町エリアで活動中の4人組ポップバンド、mogsan。日常をユニークな視点でつづった楽曲の中でもタイトルのインパクト大の本作は、意外にも(?)現代に生きる男性が主人公。デートの待ち合わせまでの散歩中に突然雨が降ってきてしまい、急いで駆け込んだ図書館で手に取った『縄文人のくらし』を読んで、縄文時代と恋人に思いを馳せる……。そんなキュートなストーリーと山内健司(Vo./ Gt.)ののびやかな声、グッドメロディで、人懐っこいポップチューンに仕上がっています。雨のお出かけ前に聴きたい一曲です！